

沖縄県公安委員会定例会会議録（令和7年4月17日）

1 主な報告等

(1) 会計監査実施結果について（令和6年度）

委員から、他機関において、不適正経理を反省教訓にして監査項目を追加した例もある。今回の監査結果を基に、チェック項目の見直しを図るほか、指示事項、指導事項の内容を全所属に共有するなどして、引き続き適正な会計業務を推進していただきたい旨の発言があった。

(2) 県教育庁と連携した非行少年を生まない社会づくりに向けた取組について

委員から、現役警察官が教壇に立って非行防止などの授業をすることは、児童生徒たちの心に強く印象に残り、健全育成の上で必要性の高い取組だと思う。授業を受けた感想や意見要望などもフィードバックし、受け手と企画側の意図がずれることのないよう心がけてもらいたい。また、動画など、色々な情報提供方法があってもよいと思う。警察官が授業に来る前の予習をしたり、通信制高校でも活用できる。コンテンツの工夫もしてもらいたい。子供や保護者にも影響力が大きいことから、今後も継続していただきたい旨の発言があった。

(3) 交番相談員の活動状況等について

委員から、交番員が不在になる時間にも住民のニーズはある。交番相談員が配置されていれば、安心できる。また、気軽に話もでき、警察にとっても事件事故の解決につながる情報も得られるだろう。地域の安全につながることから、採用人数も増やしてもらいたい。今年度の交番相談員は、全員警察OBなので危険対応などのノウハウもあると思うが、そのノウハウをマニュアル化などすれば、必ずしも警察OBに限ることなく、様々な職種の人にも門戸を広げられるのではないかな。よい制度であるのに県民にはあまり知られていないので、もっと広報した方がよい。交番は、地域住民の駆け込み寺のような存在であってほしい。交番相談員には、日頃から顔が見える関係を築いていただきたい旨の発言があった。

(4) 南城市における建造物侵入、強盗未遂事件について

委員から、各種システムの多角的な活用や複数の所属の連携があったことで、逮捕に結びついたことは非常に素晴らしい。迅速な解決が、事件を起こせばすぐに逮捕されるという警告になり、次の事件の抑止にもつながる。また、犯人も今回検挙されなければ、ますますエスカレートしていただろう。引き続き県民の安全のために頑張ってください旨の発言があった。

(5) 沖縄県警察航空隊及び機動隊合同によるホイスト降下訓練の実施について

委員から、県内でも災害が発生する中で、このような訓練は必要だ。訓練で確かめていないことは、本番ではできない。今回の訓練では数々の知見を得ており、大変有意義なものであったと思う。想定外をなくすためにも、今後とも訓練を継続し

ていただきたい旨の発言があった。

(6) その他

警察本部から、昨日（4月16日）、沖縄警察署の留置場で死亡事案が発生した。しっかりと事実関係を確認し、同種事案が発生しないよう、再発防止につとめたい。また、委員からの御指摘も踏まえ、関係職員のメンタル面のサポートを行うとともに、留置管理系の負担軽減のための各種機器の導入などについても検討していきたい旨の発言があった。

2 主な決裁等

(1) 警務部

- ・ 公安委員会宛て意見要望について
- ・ 裁決書の事前説明について（2件）
- ・ 留置管理課関係報告

(2) 地域部

- ・ 公安委員会宛て苦情の調査結果について

(3) 交通部

- ・ 自動車運転免許の行政処分について
- ・ 交通安全施設の老朽化対策について